

平成18年度第1回福岡空港調査連絡調整会議 幹事会
議事録

1 日 時 平成18年10月26日（木）16:00～17:00

2 場 所 福岡サンパレス パレスルーム

3 出席者

(1) 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	鈴木 勝
国土交通省大阪航空局飛行場部長	八鍬 隆
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	岩瀬 信一郎

(2) 国土交通省航空局飛行場部からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課空港計画企画官	大津 光孝
------------------------	-------

4 議事

(1) 開会

事務局

皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから福岡空港調査連絡調整会議幹事会を開催させていただきます。

まず、本日まで出席されておられる方々をご紹介します。

国土交通省九州地方整備局港湾空港部の鈴木部長様です。同じく、国土交通省大阪航空局飛行場部の八鍬部長様です。福岡県企画振興部の西村理事兼空港対策局長でいらっしゃいます。それから、福岡市総務企画局、岩瀬理事でいらっしゃいます。

以上、4名の幹事の皆様並びに、本日は国土交通省航空局飛行場部計画課の大津空港計画企画官にご出席をいただいております。

続きまして、本日の配付資料の確認をさせていただきます。お手元の配付資料、上から順にいけますと、配付資料一覧、以下、会議次第、それから配席図、出席者名簿、それから右上肩に「資料1」と記しております『「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」の公表について』という一連の書類。続きまして、右上、「資料2」と記しております「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」。それから最後に、やや厚手の「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見」、本日の資料は以上のとおりとなっております。揃っておりますでしょうか。

ここで、報道関係の皆様へお願いでございます。議事進行の関係で、テレビ、カメラ等の撮影につきましては、冒頭の資料説明までとさせていただきますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

では、これより先の議事の進行につきましては、九州地方整備局の鈴木部長様にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(2) 議事

「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ2)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」の公表について

鈴木部長

どうもありがとうございます。

幹事の皆様には、お忙しいところお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。本日の福岡空港調査連絡調整会議幹事会でございますが、今年7月10日から実施しておりますPI(ステップ2)、この意見収集が終わったということから、実施計画に定められました手順に従って、皆様から寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表するとともに、皆様の公表資料に対する意見募集を実施することについて協議いただくものでございます。

それでは、本日の議事次第に従いまして、資料1、資料2を用意しておりますが、まずは議事次第最初の、「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ2)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」の公表についての説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

【資料1 「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ2)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」の公表について】

西村理事

福岡県です。それでは、まず資料1の公表について、ご説明をさせていただきたいと思っております。

今、部長からお話がありましたけれども、PIのステップ2につきましては、7月の10日から意見募集を始めまして、7月、8月、さらには9月いっぱいまで、シンポジウム、説明会、オープンハウス等を実施してご意見をいただきました。中身をご覧いただければわかりますけれども、9月末現在で1,344名の方から、郵送、電子メール等でご意見を頂戴して、意見数としては3,888件ということでございます。今回はそれらのご意見を、また後ほど資料2でご説明をいたしますが、カテゴリ別に取りまとめましたので、これのご了解をいただくという前提で広く公表いたしまして、併せてご意見もいただこうということでございます。

公表の方法ですが、資料1の1ページの真ん中から下のほうに四つございますけれども、福岡空港調査連絡調整会議のホームページがありますので、それへの掲示、それから国・県・市の担当課の情報窓口、それから空港などに設置をしておりますインフォメーションコーナーへの配置。それから、県内の市町村へ配置のお願いをする予定であります。具体的なアドレスとか場所等については、2枚目以下をご覧いただきたいと思います。

それから、ずっとめくっていただきまして、4ページに、具体的な意見募集の方法について真ん中以下、3というところで整理をしております。募集期間は、本日ご了解をいただきますれば、11月の1日から2週間ほど、11月の14日までを考えております。意見募集の方法としましては、郵送、電子メール、ファクスとして、自由にご意見を頂戴することによってございます。具体的な提出先については、それぞれのツールごとに整理をしております。それから、細かい話ですけれども、意見募集にかかわる小冊子などに添付をし

す案内文とかはがきとか、そういった細々としたものにつきましては事務局にご一任をいただければと思っております。

公表、それから意見募集の段取りとしては、説明は以上でございます。

鈴木部長

ただいまの説明に関して、コメント等、ご意見、ご質問等がございますでしょうか。お願いします。

一応、手続を決めたということでございますね。

西村理事

はい、前回のステップ1と基本的には同様の流れでまとめをと考えております。

鈴木部長

何かございますでしょうか。前回と同様に手続を決めたということでございますので。

特にないようでしたら、次の資料2、「福岡空港の総合的な調査に係るPI（ステップ2）」に寄せられたご意見とそれに対する考え方」、この資料のご説明をお願いいたします。

【資料2 福岡空港の総合的な調査に係るPI（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方】

西村理事

それでは、まとめた中身について、資料2に基づいてご説明をしていきたいと思えます。資料2が今回のご意見と、それから福岡空港調査連絡調整会議ということで、国・県・市の三者が一体となって、それのご意見の主立ったものに対する考え方というのをまとめて、広くお知らせする資料ということでございます。

ご意見につきましては、提出はがきを出していただいた方など1,344名の方のデータやご意見、それから、説明会等でご意見を頂戴したものがございますので、そういったものを項目ごとに整理を行ったものでございます。

それから、下の一番分厚い冊子でありますけれども、これはいただいたご意見を全部載せたもので、それを要素ごとに整理をいたしまして、性質的に似通った七つのカテゴリーに分類をしたということでございます。これについては、ご意見を提出されたはがきの記述意見、それから説明会でのご意見等に分類しまして、全体で3,888件、約4,000件弱のご意見となっております。この厚い冊子につきましても、ホームページ等の掲載でありますとかインフォメーションコーナーに配置をして、ご覧いただきたいと思っております。

それでは、資料2と右肩に書いてあります「福岡空港の総合的な調査に係るPI（ステップ2）」に寄せられたご意見とそれに対する考え方」という小さい冊子についてご説明をしていきたいと思っております。

まず、1枚めくっていただきまして、1ページが「はじめに」ということで、これは全体の情報提供の意見収集の概要とか件数などを整理したものでございます。件数等については、先ほど申し上げたとおり、1,344名の方からの3,888件のご意見ということになっております。

それから、2ページ、3ページが、今回実施をいたしました広報とか催しなどの概要を整理したものでございます。

2ページから簡単にご説明をしていきますと、まず左上の周知広報ということで、こういうP I活動をやりますよということで、事前に周知の広報を行ったというものでありまして、上から、新聞、それからラジオ、それぞれ関係のところをお願いしております。

それからチラシの配布、これはP Iをやるというチラシですけれども、6万部ほど配布しました。

それから、県や市の広報誌への掲載も、県は県内全体で200万世帯、市は70万部ほど発行の広報誌へ掲載しております。

それから、前回のステップ1のときに、終わった後いろいろなご意見を頂戴いたしました中で、女性向けとか外国人向けの広報等も必要だということで、女性向けの情報誌への広告とか、外国人向けの広報誌への掲載等も今回は実施しております。

それから、下のP Iレポートに関する情報提供・意見収集の欄、これが実際の中身についてのP I活動ということになりますけれども、まずP Iレポートの配布ということで、これは約6万部配布しております。配布先としては、街頭での配布、中学校、高校、大学、自治体、情報提供窓口への配置、それから各催しでの配布ということであります。

それから、左右前後しますけれども、説明会が5カ所、懇談会が12カ所、それから見学会を4回実施しております。当初2回の予定でしたけれども、好評ということで2回追加して4回実施しております。それから、オープンハウスを7カ所で実施しております。

それから、先ほどと同様に、今回もステップ1でのご意見等を踏まえまして、新たな手法としまして、左の2番目のシンポジウム、それから大学でのパネル展示でありますとかグループヒアリング、英語版のレポートの公表といったものの実施しております。

それから県外でも実施をということで、オープンハウスを佐賀市でも実施したということがございます。

これらのP I活動の催しを実施いたしまして、多くの方に参加いただいております。

また、インフォメーションコーナーを空港などに設置しまして、そこでもお立ち寄りのときにご説明をしたということで、それも含めて、こういった催し物に約9,000名の方に参加をいただいたということであります。昨年が7,000名ぐらいですから、それよりもさらに、直接話をするという機会が増えたということでございます。

そういう活動をしまして、ご意見等を寄せていただいたわけですが、その中身について4ページ以下でご説明をしていきたいと思っております。

4ページからは、はがきを出していただいた方にアンケートを実施しております。その項目に沿ってまとめていったものであります。順番に主立ったものを見ていきますと、4ページの下のところ年齢層ということで円グラフが載せてありますけれども、見ていただければすぐわかりますが、20代から70代までほぼ満遍なくご意見をいただいているということでございます。

それから、5ページの右の上ですが、航空機を利用されている状況についてですけれども、0回から数年に1往復程度利用という、利用が少ない方が33%ぐらいおられます。それから年に2往復程度の方が29%ぐらい、それから二、三カ月に1往復の方が21%、月1回以上という方が15%ということで、幅広くご意見をいただいているということだと思

ます。

それから、1枚めくっていただきまして、6ページの上のほうで、これはレポートそのものについてのいろいろな感想とかご意見とかをまとめたアンケートでありますけれども、上のほうで、今回提供した情報がわかりやすかったかどうかということでありますけれども、わかりやすかったという人と、普通であるという人を合わせて70%ぐらいになっているという状況であります。

それから、いろいろアンケートの項目がありますけれども、右側の7ページのところで、「必要な情報が提供されていきましたか」という質問がございます。それで、一つは地域の将来像と福岡空港の役割についての情報がどうだったかと。それから、将来航空需要の予測についての情報はどうだったかというふうに分けて聞いております。上のほうの将来像と役割については、61%の人が「十分に提供されている」あるいは「おおむね提供されている」ということになります。それから需要予測のほうは、その二つを合わせて52%ぐらいということでございます。

それから、その下の問4ですけれども、レポートの内容についてどのように感じたかということで、63%以上の方が「興味深かった」という回答をいただいております。そういうアンケートの結果でございます。

それから、具体的な記述意見についてのご説明をこれからしていきたいと思っております。先ほど言いましたように、寄せられた記述意見につきましては、実はこの別冊の分厚いほうの4ページをご覧くださいまして、手順としまして、記述意見ですからいろいろな形のご意見を寄せられておまして、それを要素に分けて、一人の方から例えば二つ、あるいは三つなり、複数のご意見が要素としてありまして、それをそれぞれ分類していったという流れが4ページに書いてあります。こういった形でご意見を分解しながら、それぞれのカテゴリーに分けていったという作業を、かなり膨大な作業でありましたけれども、行っております。その結果が、この大きな冊子にまとめたものでありますけれども、カテゴリーとしましては七つほどございます。

今回のステップ2の関連で言いますと、小冊子に戻っていただいて、8ページのところにカテゴリーが出ておりますけれども、全部で七つございまして、ステップ2の関連で言えば、真ん中から上あたりで四つのカテゴリーで、地域の将来像、福岡空港の役割、将来の航空需要の予測、それからP Iの関連のご意見というふうに四つにしております。それから、ステップ3以降のご意見もかなりいただいております、これについては三つのカテゴリーで、有効活用方策などの現空港の関連と近隣空港との連携、それから滑走路増設、新空港ということで整理をしております。これら大きく七つに分けて、それぞれまた細かく整理をしていくということでございます。

それから、全体の数でありますけれども、意見提出はがきで記述意見として出された分と、ヒアリングのときに参加者からいただいたご意見で、ご意見の記述がありました1,165名、3,637件のご意見に説明会などのときに出されたご意見251件を加えて、総数で3,888件となっております。

それでは9ページ以下、A3判になっていきますけれども、それぞれのカテゴリーに分けたご意見の概要、それからそれに対する考え方というのをここで整理をしておりますので、これをざっと簡単にご説明をしていきたいと思っております。

この表の見方ですけれども、例えば9ページをご覧くださいますと、一番左がステップの区分ということで、今回のステップ2に関するご意見というのが書いてあります。それから、その次が分類ということで、先ほど七つに分けました地域の将来像に関する意見等々の順番になっております。それから、その次が、そのカテゴリーの件数が435件あるということでありまして、その右側がご意見の概要ということで、これは全部網羅すると大きな冊子になりますので、その中の主立ったものをまず概要としてまとめた上で、それぞれの主立ったものを書き込んだものでございます。それぞれの項目に対しまして、一番右で、それらのご意見に対する考え方を整理したものでございます。こういった形でご覧いただければというふうに思っております。

それでは9ページ以下、ざっとご説明をさせていただきたいというふうに思います。

まず、地域の将来像に関する意見でございますが、全体で435件ございました。ご意見の主立ったものとしましては、概要の頭のところに大体書いてありますけれども、アジアを中心としたつながりの重要性であるとか、福岡の役割が今後も増すだろうというご意見、また、他方では一極集中であるとか地方財政を危惧するご意見等が出ております。それに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方としては、今後も社会経済環境の変化に注意を払いつつも、国の内外を問わずに交流を拡大し、福岡の拠点性を生かしていくことが大事であるというような、大枠でいってそういう整理をしております。

それから、その下の福岡空港の役割に関する意見、全体で953件でございます。いろいろなご意見がございますが、今後も福岡空港の役割というのは重要性が増すというご意見がございます。そのほかには安全の問題とか、環境とかアクセスの利便性に関するご意見等、いろいろなものがあるということでございます。それに対するそれぞれの考え方がございますが、航空ネットワークの拡充、容量確保、利便性、安全環境といった点、この四つを今回整理したわけですが、そういったものを踏まえて今後対応方策の検討を進めていきたいというふうに整理をしております。

それから、次の10ページをご覧くださいたいと思います。カテゴリーではこれが一番多かったわけですけれども、将来の航空需要の予測に対する意見で、件数としては1,070件ございました。これもいろいろな区分けをしてご意見をいただいているわけですけれども、例えばGDPや都市部の人口の増加、アジアの経済発展に伴い旅客が増加するというご意見がございます。また他方では、人口減少とか高齢化などによって減少するというようなご意見、また結果ではなく、人口などの前提条件とか予測の精度についてのいろいろなご意見等もいただいているところであります。

右側の考え方、これはちょっと詳しく、それぞれの項目に書き込んでございますけれども、前提条件でありますとか、少子高齢化に関する意見に対する考え方、それから予測精度などについての考えについては、それぞれの項目で考え方を示しております。そして、最終的には今後も実際の航空需要の動向等に注目をしていく必要があるといったことでまとめております。詳しくは中身をご覧くださいたいと思います。それが、航空需要予測がずっと11ページの3分の2ぐらいまで続いているものであります。

それから、4番目にPIに関する意見でありまして、これが284件整理をされました。これについては、取り組みを評価するというご意見、反面レポートがわかりにくいといったようなご意見がございました。これについては、透明性、公平性、公正性の確保を基本

とするというのがP Iの趣旨でございますので、それを今後も踏まえて実施をする。いただいた新たな取り組み、こういうこともやってみたらどうかというものについても工夫をしながら実施をしていく。内容についても、今回は専門的なものもかなりございまして、なかなかわかりやすくというのも難しかったですけれども、内容についても一層わかりやすく工夫をしたいというようにまとめております。

それから、最後、下のほうに、これは今回の対象ではないということで簡単に書いてございますけれども、ステップ3以降に関する意見ということで、全体が945件ございまして、有効活用方策など現空港に関する意見が210件、近隣空港の連携方策に関する意見というのが340件、それから滑走路増設とか新空港建設に関する意見が395件ということで、これについては、考え方としてはステップ3以降でそういったことも含めて検討していくというふうに整理をしております。

それから、その他、なかなか他にはまらないものが201件というふうになっております。

そういった形で全体を整理させていただいて、それぞれについて項目ごとに考え方をお示ししております。全体的に見ますと、需要予測とか福岡空港の役割といったものに多くのご意見とか関心を持っていただいているという結果ではないかなと思っております。

以上が、内容についての全体の整理でございます。

それで12ページ以降が、これはそれぞれ各カテゴリーを項目別にしたものをさらに細分化して意見数を整理したものでございます。アンケートというか、ご意見の聞き方が地域の将来像と福岡空港の役割について、それから航空需要の予測について、それからその他ということで三つに分けてご意見を頂戴しておりますので、それぞれについてまた別々のご意見をそれぞれの項目でいただいた関係で、全体はそれぞれちょっと細かい数字の羅列になってはいますが、こういう形で整理をしております。これを総合的にまとめたのが、11ページまでの数字だをご理解いただきたいと思います。

内容的には以上でございますが、この資料2全体のを返信用はがきを添えましてインフォメーションコーナーとか情報提供窓口配置したいと思っております。

説明は以上です。

鈴木部長

ありがとうございます。要は、P Iレポートに対するご意見をまとめて、再度これに対するご意見をいただくということかと思えます。

ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

八鍬部長

1点、質問ですが、最後のページに意見の記入はがきがありまして、これを見ますと自由に書くところが①と②と分かれていて、①が地域の将来像と福岡空港の役割について、②が将来の航空需要の予測について、それぞれ自由に書くようになっていると思うんですけれども、それぞれここに書いてきた回答を①、②関係なく七つのカテゴリーに分けてまとめているという理解でよろしいでしょうか。

つまり①と②で、返ってきた答えについては、特段、何か区別して考える必要はないということよろしいんですか。

事務局

今お話がございましたように、最後の①、②ということで、一応こういう形で、この部分にご意見を記入していただきたいということで準備しているんですけども、ご意見を記入される方がそれにあまりこだわらずにといいますか、①の欄のそこに、例えば少し需要予測に関する部分なんかを書き込んだりとかされたりしていますので、一応トータル、全体を、先ほど説明がありましたように七つに分けたら、先ほどの大きな表になるということでございます。

八鍬部長

要するに、①に書かれたものと②に書かれたもので、特に区別して考えることはないということですね。

事務局

それを素直に①でどうだったかというのが、先ほどの説明で言いますと12ページ以下ですね。これが、例えば①で言いますと、将来像と福岡空港の役割というご意見を私どもはそこに書いていただきたいと思っているんですけども、やはりその欄でも少し、例えば需要予測に関するようなご意見あたりが書かれたりしていますので、素直に積み上げましたらこの参考-1、2というような、そういう形になりますということでございます。

鈴木部長

ほかにご意見はございますでしょうか。

岩瀬理事

P Iとしてはできるだけ多くの方からご意見をいただければと思うんですけども、ステップ1と比較してどうだったんでしょうか。

事務局

昨年実施しましたステップ1では、最終的にご意見をいただいた方が1,426名。それが今回、9月30日時点でございますが1,344名となっております。それから、意見数としましては、ステップ1では3,115件、3,100件を超えるご意見でしたが、今回は9月末現在で3,888件ということになっております。

岩瀬理事

ほぼ、一緒ぐらいですね。

事務局

ほぼ、大体ステップ1と同程度だと考えております。

鈴木部長

ほかにございますか。

大津企画官

感想的なことですけれども、これだけの大変な努力をされて、説明会に加えオープンハウスといういろいろな手法も取り入れられて、他のこれからこういうP Iをやるところにも参考になる、という目で見ております。

この後、P Iのステップ3、4と予定されているわけですけれども、今後こういうところに力を入れたらもう少し幅広いご意見が寄せられるのでは、というような点で、何かお気づきの点があれば少し教えていただきたい、と思います。

西村理事

実は今回、先ほど少し説明しましたが、福岡空港調査PI有識者委員会というのがありまして、そこでステップ1が終わった後でいろいろ、次回はこういうふうにやってみたらということでアドバイスといいますか、ご意見を頂戴し、助言をいただいて、それを取り込んだ形で、例えば女性とかに丁寧に説明をしたらどうかとか、若い人たちに十分情報提供したほうがいいんじゃないとか、それから外国人の方にも利用される方が多いのでやったらどうかとか、県外にも当然、県という枠にとらわれずにやってみたらどうかという、そういったご意見を頂戴しまして、それぞれ、先ほど言いましたように、大学でパネルを展示してみたりとか、あるいは女性誌に出してみたりとか、英語版のP Iレポートをつくらせたりといった、そういった工夫も今回はしています。

そのほか、P I活動としては、去年レポートを5万部つくったんですが、それを6万部にしたりとか、あるいは今回、需要予測という専門的なものもございますので、それについての専門家の方々全般の評価というご意見はどうなのかということで、シンポジウムを開いたりといったこともございます。それから、インフォメーションコーナーもできるだけいろんな人に触れていただくようなということで、実際にお配りした人数も増やしたりと、それなりに工夫はしております。

ただ、前は現状と課題という内容だったものですから、わりとまだ身近なものだったんですけれども、今回は需要予測が中身にあります。福岡空港の役割とか福岡の将来像というのは、住んでいる方は何となくイメージはわくんですけれども、需要予測になると専門的なものがありますので、なかなか工夫をしてレポートを作るにしても苦勞をしたという経緯がございまして、その辺がこれからどう、またさらにステップ3になってくるとどう工夫をしてわかりやすく作っていくのかなということが一点と、あと大学のパネル展示というのがあまりご覧になる方が多くなくて、うちの職員もいろいろ行って、チラシとか配ったんですけれども、関心を持っておられる方があまりいなかったという感じを聞いておりますので、そういう方々をどうしていくかというのが現時点での課題になるかなと思っています。

あとその他いろいろまだあると思いますが、それは福岡空港調査PI有識者委員会の先生方にご説明をして、ご意見を頂戴したいと思います。

大津企画官

また福岡空港調査PI有識者委員会でその辺のご意見がまだ出るかと思っておりますので、次のステップに向けて皆さんで知恵を絞って、いろんな方に理解していただくということが目

的だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

鈴木部長

そうですね、私自身も福岡空港のロビーというか、ターミナル中にもそういう一角があったと思ひます。しばらくじっと見ていたら結構若い方も来ていたかなという感じではありまして、ある意味、このP Iをやることによって福岡空港のみならず空港という施設、あるいはインフラに対する目が十分見えてきたのかなというふうな気がいたしました。

ほかにご意見、コメント等がありますでしょうか。

岩瀬理事

関連して教えていただきたいんですけども、今のご説明にありましたステップ1とステップ2の違いで、今回は県外でもやられたというお話なんですけれども、県外で実施されたオープンハウスですが、どうだったか教えていただけたらと思ひますけど。

事務局

ステップ1では福岡県内だけで実施したんですが、今回、ステップ2では佐賀県、具体的には佐賀市でございますけれども、やはり福岡空港の利用もそれなりにされている、そういった地域でございますし、7月22、23日の土、日で佐賀市のイオンショッピングタウン大和という施設で実施しております。

その状況でございますけれども、県内で6カ所オープンハウスを開催していますけれども、いわゆるご参加といいますか、そういう部分につきましては県内地域での開催と遜色はないというふうなことで、会場では当然パネルを展示したり、あるいは具体的に職員を置いて、質問に対してお答えなんかもしているんですけども、そういった担当者の説明に関しましても熱心に聞いていただきまして、また、この調査でありますとか福岡空港のそういう状況、あるいは課題、こういうものについても数多くのいろいろな質問をいただくなど、関心が高いなというふうに感じたところでございます。そういう意味では、佐賀市ではございましたけれども、そういった県外での取り組みというのにも意義のある取り組みではなかったかなと考えております。

八鍬部長

需要予測についてですけれども、資料の7ページになるんですが、将来の需要予測については、P Iの情報が十分に提供されていると思わないという人が30%いて、需要予測は技術的になかなかわかりにくいところがあるので仕方ないと思ひうんですけども、ほかの項目に比べますと少し高くなっているという状況なので、第3ステップ、第4ステップにいくときに、もし改善できるものがあれば改善していったほうがいいかなと思ひます。そこで十分に提供されていると思わないというその中身が、情報が足りないのか、あるいは多過ぎてわかりにくいのか、いろいろあるかと思ひうんですけども、もし今の時点で次に向けてこういうふうにしたらいといったことがある程度わかっていたら教えていただきたいと思ひます。

事務局

今回、P I レポートそのものと、それから詳細版と二つでございまして、多くの方は詳細版までご覧いただいている、当然だと思います。ただ、当然P I レポートの中でできるだけ情報を十分提供できるようにと心がけたつもりでございしますが、やはりかなり専門的なところがあつたのかなと思っております。

詳細版のほうでは、いろんなモデルの考え方でありましてか式とかすべて出したわけですが、やはりボリュームの関係があつてPI レポートには結果、あるいは途中の算出結果、そういった部分にどうしてもとどまってしまったというところがございします。

次回はまたテーマが変わるわけですが、その点、できるだけPI レポートでも情報が十分に伝わるようにいろいろ工夫をしたいと思つている次第です。

鈴木部長

どうもありがとうございます。

まだ、ご意見等はありますでしょうか。

大分ご議論いただいているんですが、いかがなものございましょう。特になければ、いわゆるこの寄せられたご意見とそれに対する考え方、福岡空港の総合的な調査ステップ2に寄せられたご意見とそれに対する考え方を公表いたしまして、公表資料に関する意見募集というものをさらに実施したいと、この案でもって実施をしたいと思つますが、いかがでございましょうか。

(「異議なし」との声あり)

鈴木部長

特になければ、議会で言えば原案をもって決するという事なんですが、これで進めさせていただきますと思います。

(3) その他

鈴木部長

本日、用意しています議題が二つございまして、その議題、審議が終わりましたところですが、その他、事務局から何かございしますでしょうか。

特にない。わかりました。どうもありがとうございます。

それでは、本日の議事はこれにて終了ということにさせていただきますと思います。

(4) 閉会

事務局

今日はありがとうございました。

以上をもちまして、本日の福岡空港調査連絡調整会議幹事会は閉会させていただきます。ありがとうございました。

— 了 —